



大阪公立大学 大学史資料室 NEWS LETTER
No.4

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 大阪公立大学 大学史資料室 協創研究センター・大学 史編纂研究所 公開日: 2024-01-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002000204



写真1

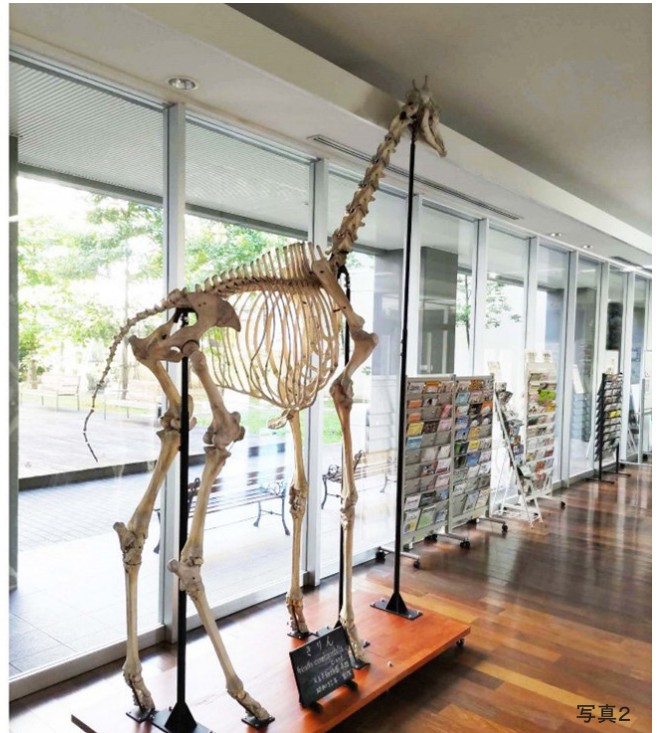


写真2

写真1：斜め前方から見たキリンの骨格標本。写真2：斜め後方から見たキリンの骨格標本。りんくうキャンパス獣医学部1階ロビー。

獣医学研究科所蔵の骨格標本と模型

大学の知を発掘！
025

獣医学部の教育目標の一つに、「動物について、細胞、組織から器官形成に至る動物の構造・機能に関する知識を有し、問題解決に応用できる能力を身に付ける」とある。その教材である獣医学研究科が収蔵する骨格標本と模型を紹介する。

大阪公立大学りんくうキャンパスの獣医学部1階ロビーにはキリンの骨格標本が展示されている（写真1および2）。このキリンの骨標本は1957年に天王寺動物園から寄贈されたようである。どのような経緯でこのキリンの骨格標本が作製されたかについては残念ながら不明であるが、キリンのような大型の動物の骨格標本作製するには大変な苦勞があったことだと思われる。このキリンの骨格標本は2008年度までは獣医学科が設置されていた中百舌鳥キャンパスの獣医臨床センターに収蔵されていたが、2009年度に獣医学科がりんくうキャンパスに移転することに伴い、りんくうキャンパスに移動することとなった。中百舌鳥キャンパスに収蔵されていた当時、キリンの骨格標本は薄汚れた状態で保管されていたが、りんくうキャンパスに移動した際にきれいに洗浄し

て現在のキリンの骨格標本のように組み上げられた。実は中百舌鳥キャンパスにはもう一体キリンの骨格標本が存在していたが、そちらは保存状態が悪かったため、移動させずに廃棄処分となったという経緯がある。

りんくうキャンパスにはキリンの骨格標本以外にも、ウシ、ウマ、イヌ、ブタ、ヤギ、ニワトリ、ライオンなど数多くの骨格標本が収蔵されている（写真3および4）。これらの標本の一部は、獣医解剖学の講義および実習の際に活用されているが、ほとんどの標本は3階標本室内のスチール棚にひっそりと保管された状態となっている。できることなら、りんくうキャンパスで収蔵している全ての骨格標本をキリン骨格標本と同様に、きちんと組み上げて展示するのが理想的であるが、その資金がないことや、その作業に携わる時間を確保することができないなどの理由から、バラバラの状態で保管されているというのが現状である。りんくうキャンパスでは骨格標本とともに、ウシ、ウマ、イヌ、ブタの模型など大変貴重な教材資料も収蔵されており（写真5および6）、これらの模型も講義や実習などで活用されている。

（獣医学研究科 中島崇行）



大阪公立大学・高専基金へのご寄附のお願い

お申込み時に「特定プロジェクトのために：⑨-3、⑨-7」を選択してください。（⑨-3：1号館ミュージアム構想のために ⑨-7：大阪府立大学創基140年事業のために）

【お問い合わせ】 渉外企画課 TEL: 06-6605-3415
<https://www.omu.ac.jp/fund/>

編集発行
大阪公立大学 大学史資料室
協創研究センター・大学史編纂研究所
杉本キャンパス学術情報総合センター6階（大学史資料室）
Tel: 06-6605-3371 E-mail: gr-gakj-archives@omu.ac.jp

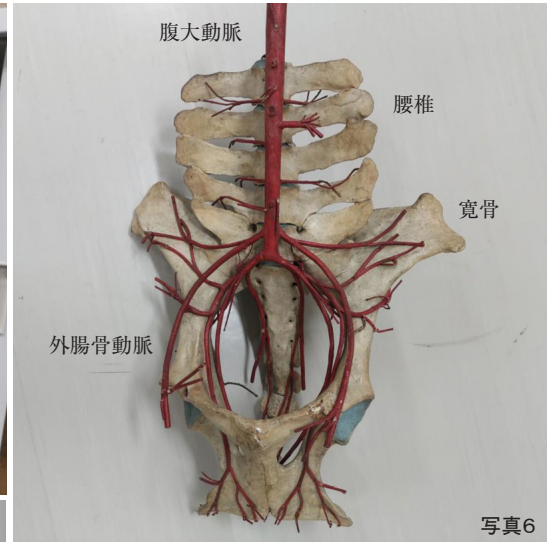


写真3～6：りんくうキャンパス標本室に保管されている標本類。

写真3：ウシおよびウマの骨格標本。
組み立てずにバラバラの状態で保管されている。

写真4：ライオンの骨格標本の一部。

写真5：ウシ、ウマ、ブタ、イヌの模型。

茶色は筋肉、水色は筋膜あるいは腱膜を示す。模型の外側を外すと、骨格や内臓の模型が組み込まれている。

写真6：ウマの骨盤および骨盤周囲の動脈の模型。

動物の解剖では、人間と同様に血管の分布も重要であるため、このように骨と血管模型を組み合わせた模型も収蔵している。



資料室だより

◆大阪公立大学発足にともなう「大学史資料室」設置を機に、「大阪公立大学 大学史資料室 NEWS LETTER」を発行することになりました。大阪公立大学の貴重な学術資料を紹介する方針です。◆この「NEWS LETTER」は、大阪市立大学「140周年展+大学史資料館（大学博物館）設立準備 NEWS LETTER」の後継紙であり、「大学の知を発掘！」の番号を引き継いでいます。両紙とも大阪公立大学 図書館ホームページの機関リポジトリで公開しています。

大学史資料室からのお願い

現在、学内にある資料の所蔵調査を行なっています。学術資料そのもの、研究の過程で残された資料類、実験装置や器具類、実習に用いられた教材や作品などを、大学史にかかわる資料とともに探しています。候補となる資料がありましたらご一報ください。

→杉本キャンパス学術情報総合センター 6階 大学史資料室

Tel：06-6605-3371